

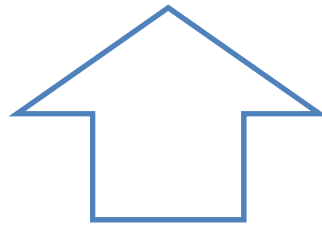
幼児を養育している保護者とのかかわり — 保育者の専門性を生かして —



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
小林 倫代

保護者とかかわるときには、まず

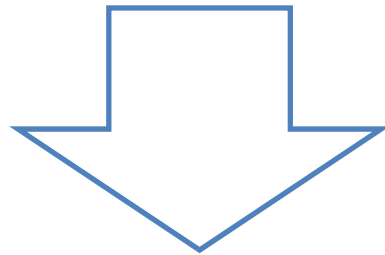
- ・我が子を どのようにとらえているか
(理解しているか)を知ること



- ・子どもの家庭での様子を聞く
- ・話しぶりや表情から、子どもへのおもいを推察する

保護者とかかわるときには、まず

- ・我が子を どのようにとらえているか
(理解しているか)を知ること



信頼関係を築く

この様子は、障害があることなの？

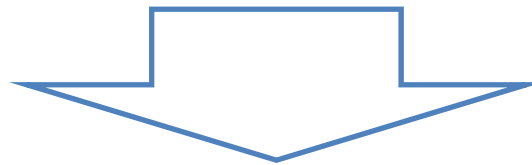
- ・障害の有無を考えるのではなく、
子どもの特性を保護者と共通理解すること

- ・気になる様子や行動の背景となっている
ことを考える
- ・それを踏まえて対応を保護者と共に考える

この様子は、障害があることなの？

- ・障害の有無を考えるのではなく、
子どもの特性を保護者と共通理解すること

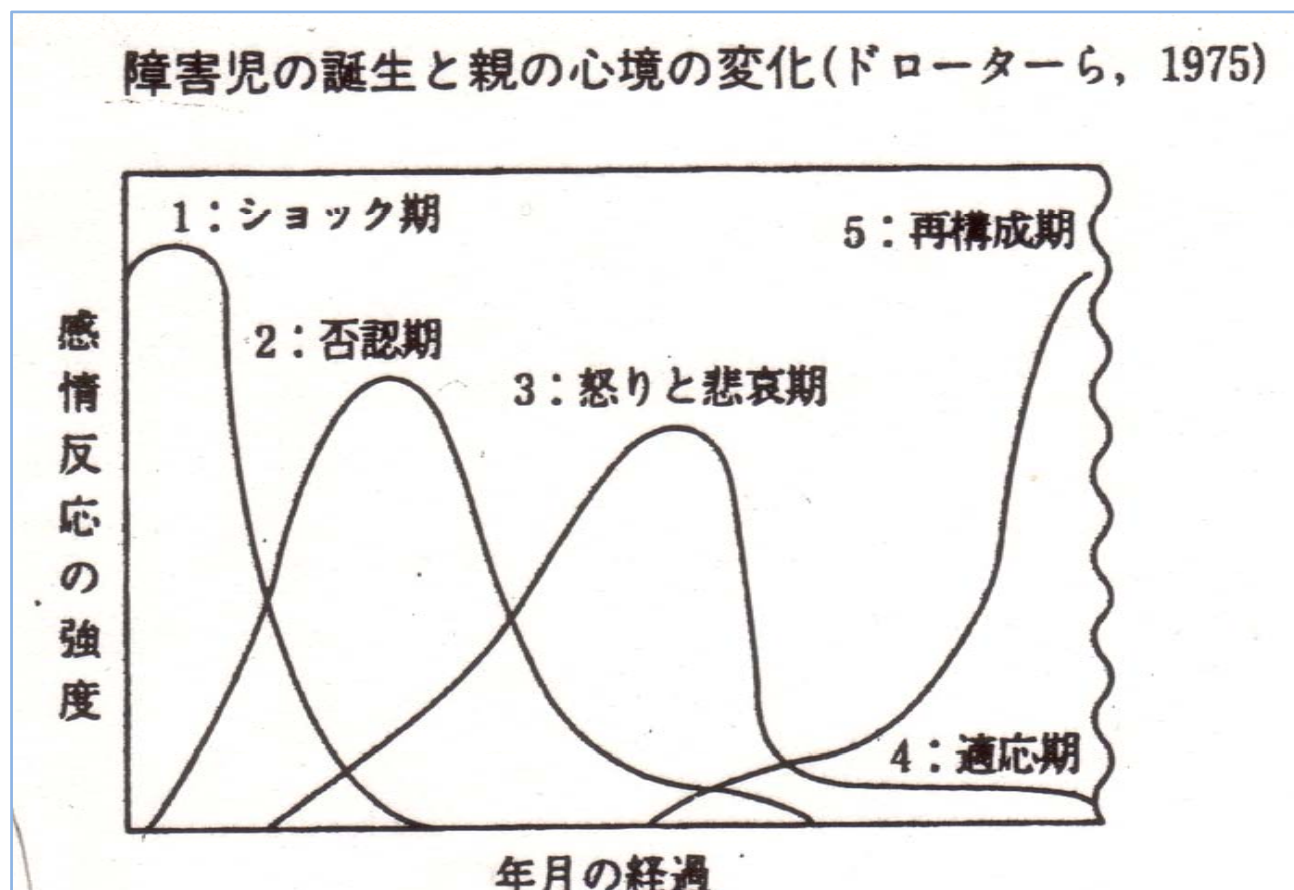
- ・保護者は、育てにくいことを感じている



相談機関への紹介のタイミングを図る

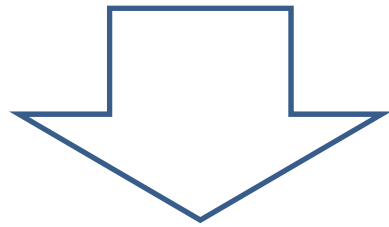
障害の診断 ≠ 障害の受容

- ・診断があるからといって、保護者は子どもの障害を受け入れているとは限りません

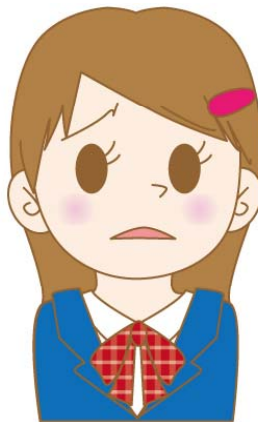


障害を受け入れても

入園・就学・進学を選択の時



他の子どもたちとの違いを知る



気持ち
の揺らぎ

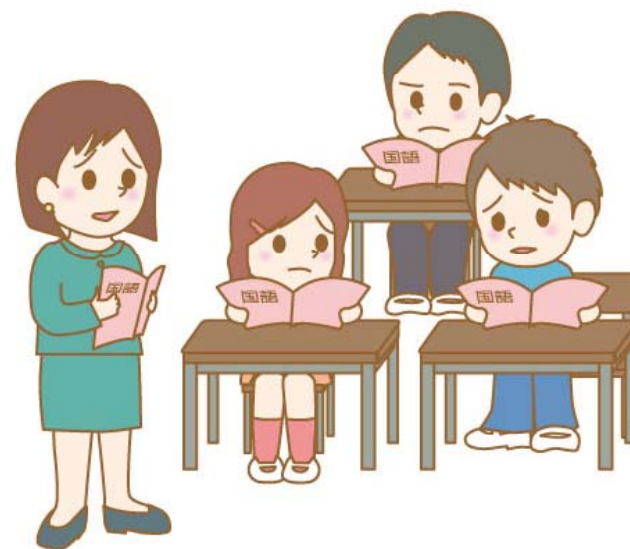
保護者の状況を理解する

- 保護者の家庭生活に関すること
- 子どもの理解と対応に関すること
- 身近な人の理解と協力に関すること
- 関係機関との関わりに関すること



就学に向けての保護者の不安

- 障害の有無にかかわらず、小学校では
 - ✓ みんなと一緒にできるか
 - ✓ 勉強はついて行けるか
 - ✓ 友だちはできるか
 - ✓ 先生の言うことを聞けるか



etc.

就学にかかわる相談

- 就学先を探すことが主眼ではない
- 就学先がどのような教育を行っているのかを知る
- 学校の雰囲気や教育内容を知る→学校見学

幼児を養育している保護者とのかかわり — 保育者の専門性を生かして —

終わり

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
小林 倫代